



実食する実行委員

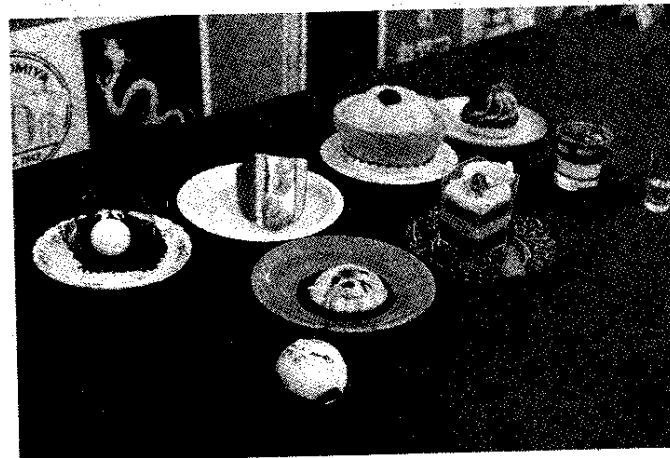
10月28、29の両日、「コンテスト」の最終審査が行われ、用紙とインターネットによる投票の結果、2部門で上位が承認され、2日間で4回あるおやつの時間

富士宮市で開かれる第35期竜王戦第3局富士宮対局の第2回実行委員会が15日、富士宮市役所で開かれた。同日は、対局を盛り上げる「竜王戦おやつ選びコン

竜王戦おやつ選びコンテスト

和菓子・洋菓子2部 門で7品承認 最終審査

富士宮局 対 「おやつの時間」メニューに



選ばれた7品

須藤市長は「どの品もおいしかった。コンテストによって市内にだけ多くの菓子店があることを知った人が多い。それだけでもコンテストを開いた意味があった」と感想を述べた。また、その他実行委員も味のよい工事が凝らされていたことを賞賛した。

選ばれたのは和菓子の「黒みつ豆腐」(富士の菓子処藤太郎)、「森林くに雲海ゼリー」(富士見荘)、洋菓子部門が『どうらサンド』(お菓子の家もちのき)、「幻の！」(黒いちじく)、「ユーチクリーム」(モウ

u-j-i) (華月×富士高校会議所)、「富士ビーで開かれた写真展示による投票が8月9日18日、インターネットによる投票が同9月31日に行われ、9月4日9票が寄せられた。このうちの43%は市民からの投票だったとい

う。同日は和菓子部門上位3品、洋菓子部門上位4品が並べられ、同

藤秀忠市長や会長・中村洋日本将棋連盟県文部連合会長らが実食。提供に問題はないかなどをチェックした後7品すべてが富士宮市

提供に問題はないかなどをチェックした後7品すべてが富士宮市

から選ばれることになった。おやつ選びコンテストは、竜王戦で提供する菓子を市内の店舗から募集し、市民らに選んでもらおうと開かれたもの。市内38店舗か

ら自慢の一品が寄せられた。市役所1階市民口のメニュー表に掲載された。おやつ選びコンテストは、竜王戦で提供する菓子を市内の店舗から募集し、市民らに選んでもらおうと開かれたもの。市内38店舗から選ばれた7品

このうちの43%は市民からの投票だったといふ。同日は和菓子部門上位3品、洋菓子部門上位4品が並べられ、同

藤秀忠市長や会長・中村洋日本将棋連盟県文部連合会長らが実食。提供に問題はないかなどをチェックした後7品すべてが富士宮市

から選ばれることになった。おやつ選びコンテストは、竜王戦で提供する菓子を市内の店舗から募集し、市民らに選んでもらおうと開かれたもの。市内38店舗から選ばれた7品

から選ばれた7品

から選ばれた7品